
NSB-75S シリーズ用 リカバリーディスク活用ガイド

本ドキュメントでは、製品に付属の「リカバリーディスク」のご利用方法について、ご説明いたします。

「リカバリーディスク」をご利用いただくことにより、起動しなくなってしまった NAS システムの復旧や、「Windows Server バックアップ」のベアメタル回復による復旧を試みる事が可能です。

1. 対象機種

■ Windows Storage Server 2012R2 搭載モデル :

- ・ NSB-75S4RS2、NSB-75S4RW2 シリーズ
- ・ NSB-75S4CS2、NSB-75S4CW2 シリーズ
- ・ NSB-75S4DS2、NSB-75S4DW2 シリーズ

2. リカバリーディスク概要

製品に付属の「リカバリーディスク」では、下記の機能をサポートしています。

- 製品を出荷時の状態に戻す

システム領域、データ領域共に、出荷時の状態に戻します。

保存されていたデータはすべて失われます。

作業手順については、『6-1. 製品を出荷時の状態に戻す手順』(P.5)をご参照ください。

注意！

出荷時の状態へ戻した後で『ベアメタル回復』を行う事はできません。

- データ領域を残し、システム領域のみ出荷時の状態に戻す

システム領域 (C:ドライブ) のみを出荷時の状態に戻します。

データ領域 (D:ドライブなど) に保存されているデータは残ります。

※ただし、保存されているデータのアクセス権、共有設定などの情報は失われます。

作業手順については、『6-2. データ領域を残し、システム領域のみ出荷時の状態に戻す手順』(P.11)をご参照ください。

- 「Windows Server バックアップ」のベアメタル回復を実行する
「Windows Server バックアップ」で作成したバックアップイメージのベアメタル回復を実行します。
システム領域、データ領域共に、バックアップイメージ作成時の状態に戻ります。
作業手順については、『6-3. 「Windows Server バックアップ」の「ベアメタル回復」によるリカバリー手順』(P.14)をご参照ください。

注意！

『ベアメタル回復』は、バックアップイメージを取得した時と同じCドライブに対してのみ実行できます。以下の場合には実行できません。

- 出荷時の状態に戻した後
- ベアボーン交換を行った後
- 4本のHDDが全てスペアドライブの場合

3. ご利用前のご注意

- 「リカバリーディスク」からのシステム復旧作業により如何なる損害が発生した場合でも、弊社では責任を負いかねます。
- 製品に付属の「リカバリーディスク」は各製品専用です。他の製品に適用しないよう、ご注意ください。
- HDD 4台を内蔵した状態で作業を開始してください。HDDが不足している場合、作業を継続できません。
- 外付けのストレージデバイスはすべて取り外しておいてください。
- 作業中は電源を切らないでください。

4. 用意するもの

- ディスプレイモニター (XGA 対応)
- USB キーボード
- USB マウス
- USB2.0 対応の DVD ドライブ (2層メディア対応のもの)
- 製品付属のリカバリーディスク

5. リカバリーディスクの起動方法

下記の手順で、NAS をリカバリーディスクから起動します。

※HDD ドライブ 4 台を内蔵した状態で作業を開始してください。

外付けのストレージデバイスは全て取り外しておいてください。

- ① NAS が起動状態にある場合は、シャットダウンして電源を OFF にします。
- ② NAS 本体の背面にある USB2.0 ポートにマウス、キーボードを接続します。
DVD ドライブは USB3.0 または USB2.0 ポートへ接続します。
同じく背面にある VGA コネクタにディスプレイモニタを接続します。
※その他の外部接続機器は全て取り外してください。

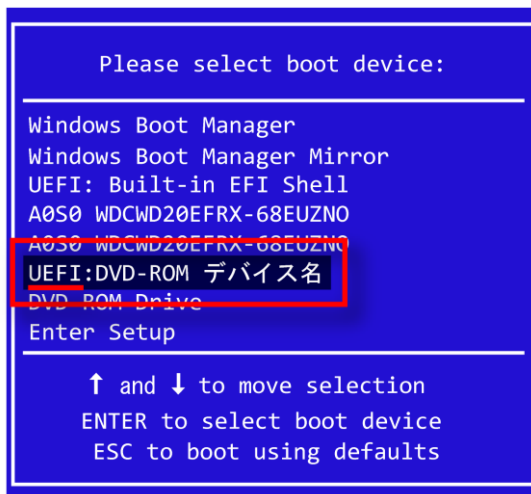
DVD ドライブにリカバリーディスクをセットしておいてください。

- ③ NAS 本体に AC コードが接続されている事を確認し、電源を ON します。
起動開始を示す Beep 音が鳴ります。すぐに、下記キーの連打を繰り返してください。

NSB-75S4RS2・NSB-75S4RW2 シリーズ : F12 キー

NSB-75S4CS2・NSB-75S4CW2・NSB-75S4DS2・NSB-75S4DW2 シリーズ : F7 キー

下図の起動デバイス選択メニュー「Please select boot device:」が表示されるまで連打を続けてください。



※「DVD-ROM デバイス名」は、NAS に接続されている DVD ドライブの製品毎に異なります。

起動デバイス選択メニューで、DVD ドライブを選択します。

この時必ず、デバイス名の先頭に「UEFI」と表示されている項目を選択してください。

誤った項目を選択して進めた場合、作業を正常に完了できません。

[Enter] キーを押すと、リカバリーディスクからの起動が始まります。

- ④ 下図のメニュー画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。(所要時間 5分程度)

```
NAS Recovery Ver *.*
-----
NSB-75S4C*2 シリーズのリカバリー/リストアを実行します。
作業を開始する前に、大切なデータはバックアップしておいてください。
*****
1:データを消去し、出荷時の状態に戻します。
2:システム領域のみリカバリします（データ領域は残ります）。
3:ベアメタル回復を実行します。
4:メンテナンスメニューを表示します。
5:リカバリーをキャンセルして再起動します。
*****
入力(1-5) >
```

注意

メニュー画面が表示されるまでに、画面表示が乱れる（縞模様が表示される等）事がありますが、製品の異常ではありません。そのまま電源を切らずにお待ちください。

メニュー項目の選択は、各メニュー項目の左側に表示されている番号を入力し、[Enter] キーを押す事で決定します。

メニュー項目ごとの詳細手順については、以下の項を参照ください。

- 1: データを消去し、出荷時の状態に戻します。
→「6-1. 製品を出荷時に戻す手順」を参照ください。
- 2: システム領域のみリカバリします。
→「6-2. データ領域を残し、システム領域のみ出荷時の状態に戻す手順」を参照ください。
- 3: ベアメタル回復を実行します。
→「6-3. 「Windows Server バックアップ」の「ベアメタル回復」によるリカバリー手順」を参照ください。
- 4: メンテナンスメニューを表示します。
→通常は使用しません。

6. 各メニューの説明

6-1. 製品を出荷時の状態に戻す手順

システム領域、データ領域共に出荷時の状態へ戻します。

注意

出荷時の状態に戻すことにより、システム導入後の設定およびアップデート、インストールされたアプリケーション、保存されていたデータは全て失われます。
必ずデータのバックアップを行ってから作業を開始してください。

※本作業の中で、RAID ボリュームを構築します。構築作業が完了するまで、NAS の電源は切らないようご注意ください。

※構築作業に必要な時間については、下記の表をご参照ください。

製品型番	所要時間
NSB-75S24T4RS2 NSB-75S24T4RW2 NSB-75S24T4CS2 NSB-75S24T4CW2 NSB-75S24T4DS2 NSB-75S24T4DW2	約 84 時間
NSB-75S16T4RS2 NSB-75S16T4RW2 NSB-75S16T4CS2 NSB-75S16T4CW2 NSB-75S16T4DS2 NSB-75S16T4DW2	約 63 時間
NSB-75S12T4RS2 NSB-75S12T4RW2 NSB-75S12T4CS2 NSB-75S12T4CW2 NSB-75S12T4DS2 NSB-75S12T4DW2	約 47 時間
NSB-75S8T4RS2 NSB-75S8T4RW2 NSB-75S8T4CS2 NSB-75S8T4CW2 NSB-75S8T4DS2 NSB-75S8T4DW2	約 30 時間
NSB-75S4T4RS2 NSB-75S4T4RW2 NSB-75S4T4CS2 NSB-75S4T4CW2 NSB-75S4T4DS2 NSB-75S4T4DW2	約 14 時間

- ① 「リカバリーメニュー」で、「1: データを消去し、出荷時の状態に戻します。」を選択してください。実行確認のためのメッセージが表示されます。

```
入力(1-5) >1
NASを出荷時の状態に戻します。
設定項目や保存されているデータはすべて消去されます。
作業を開始する前に、大切なデータはバックアップしておいてください。

作業を開始する場合は、YESと入力してEnterキーを押してください。
作業を開始しますか？(YES or NO) >
```

ここではメッセージに従って、キーボードから「YES」を入力して [Enter] キーを押してください。

注意

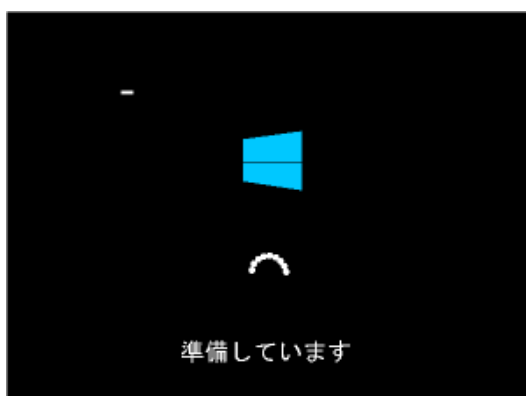
この操作の後、システムは出荷状態に戻り、データ領域は全て消去されますのでご注意ください。作業を中止する場合は、ここで「NO」を入力して [Enter] キーを押してください。

- ② リカバリーイメージの復元が完了すると、下記のメッセージが表示されます。所要時間 20 分ほどです。

```
リカバリーが終了しました。
再起動して作業を継続してください。
※再起動する前に DVD ドライブを取り外してください。
システムを再起動します。
続行するには何かキーを押してください . . .
```

メッセージにしたがって、USB ポートから DVD ドライブを取り外し、[Enter] キーを押してください。システムが自動的に再起動します。

- ③ 再起動中、デバイスドライバーのインストールなど、システムの初期化作業が自動で行われます。
(途中、自動的に再起動します)
作業が完了するまでしばらくお待ちください。(所要時間 5 分ほどです)



- ④ 初期化作業が完了すると、「サインインするには **Ctrl + Alt + Del** キーを押してください。」と表示されます。キーボード上の三つのキー（**[Ctrl]** キー・**[Alt]** キー・**[Del]** キー）を同時に押してください。

Windows のサインイン画面が表示されます。

下記のアカウントでサインイン（ログオン）します。

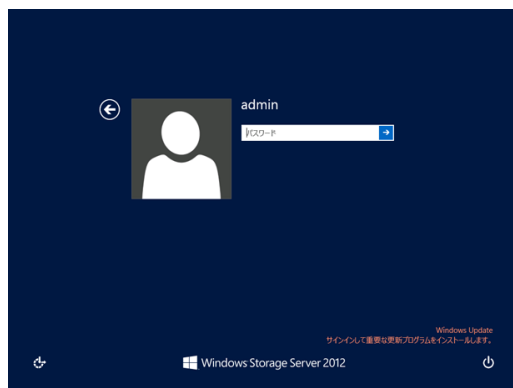
ユーザー名：admin

パスワード：admin

ユーザー選択画面では、

admin

を選択してください。

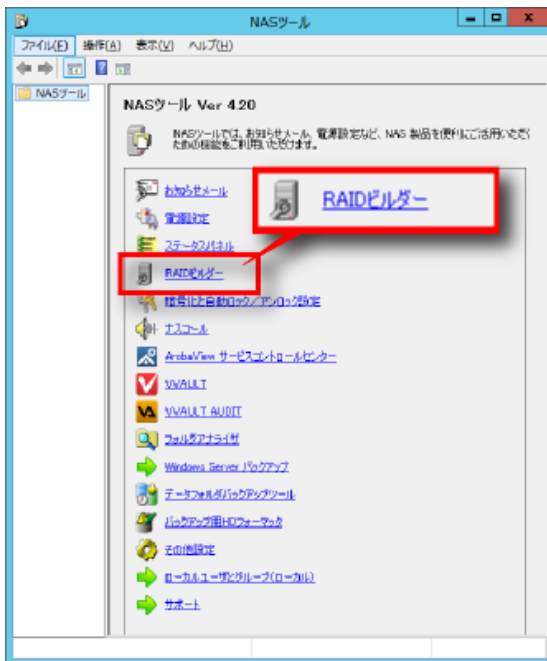


続いて表示されるパスワード入力画面では、パスワード入力ボックスに「**admin**」を入力してください。

サインイン（ログオン）に成功するとデスクトップ画面が表示され、「NAS ツール」メニューが自動的に開きます。

⑤ RAID 構成を出荷時の状態に設定します。

「NAS ツール」の選択メニューから「RAID ビルダー」をクリックして起動してください。



⑥ 「RAID ビルダー」が起動したら、「ボリューム作成」ボタンをクリックして、RAID 動作モード「パターン1」で RAID ボリュームを作成してください。

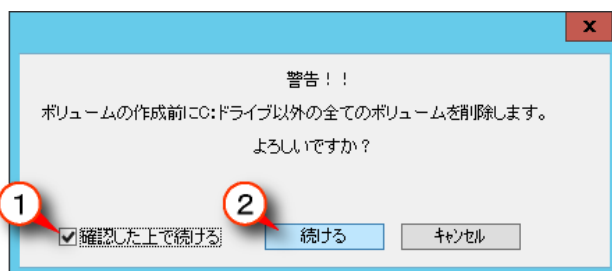
この作業により自動的に NAS 出荷時の RAID 構成が構築され、共有フォルダも初期化されます。

1) RAID ビルダーの「ボリューム作成」ボタンをクリックしてください。



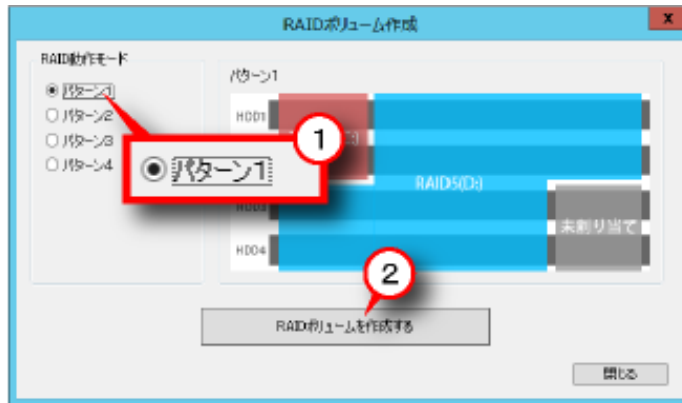
2) システム領域以外のボリュームを削除する際の警告が表示されます。

この時点ではシステム領域の他にボリュームは存在していないため、「確認した上で続ける」チェックボックスを ON に設定して、「続ける」ボタンをクリックしてください。



3) RAID ボリューム作成ダイアログが表示されます。

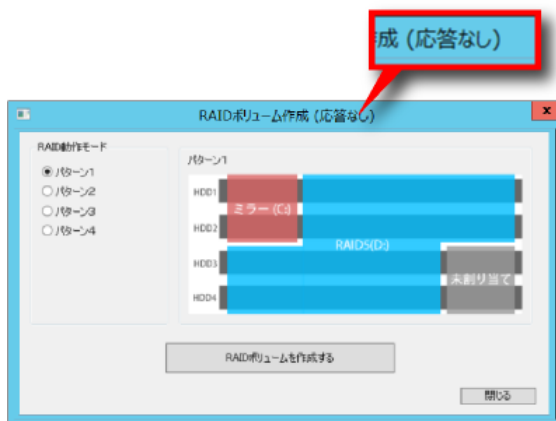
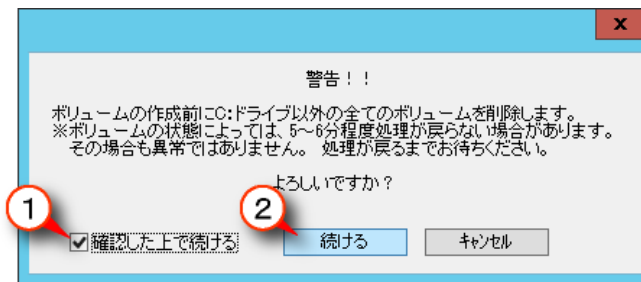
ここでは「パターン1」を選択してください。選択を確認した後、「RAID ボリュームを作成する」ボタンをクリックしてください。



4) 再び警告が表示されます。

実際の作業を開始する前に、再度警告が表示されます。

ここでも、「確認した上で続ける」チェックボックスを ON に設定して、「続ける」ボタンをクリックしてください。作業が開始されます。

**注意!**

作業開始後、数分の間 RAID ビルダが「応答なし」の状態になります。
これは異常ではありませんので、強制終了等実行せず、画面が変わるまでお待ち下さい。

RAID ビルダール上で C:ボリュームと D:ボリュームが「修復中」に変われば作業は終了です。
ただし、修復が完了するまで NAS 本体の電源を切らないでください。



NSB-75S4CS2・NSB-75S4CW2・NSB-75S4DS2・NSB-75S4DW2 シリーズ

ボリュームが「修復中」の間、製品前面の液晶表示パネルに「RAID 再構築中」のメッセージが表示されます。

「修復」が完了すると通常の状態表示に戻ります。

NSB-75S4RS2・NSB-75S4RW2 シリーズ

ボリュームが「修復中」の間、製品前面のアクセス/エラーランプの赤色が各 0.5 秒ずつ順番に点灯します。

「修復」が完了すると赤色は消灯します。

～～以上で作業は完了です。～～

< 推奨 >

リカバリー作業の完了後、Windows アップデートを実施してシステムを最新の状態にすることを推奨します。

また弊社ダウンロードコーナーにて、NAS の最新アップデートもご確認ください。

6-2. データ領域を残し、システム領域のみ出荷時の状態に戻す手順

システム領域のみ出荷時状態に戻す作業では、データ領域に保存されているデータファイルの消失を極力避けるため、作業開始前に内蔵ディスクの状況をチェックします。

このチェックで異常が検出された場合、作業を中止します。別の復旧方法をご検討ください。

- ① 「リカバリーメニュー」で、「2: システム領域のみリカバリします (データ領域は残ります)。」を選択してください。

実行確認のためのメッセージが表示されます。

```

入力(1-5) >2
NASのシステムボリューム(C:)のみ、出荷時の状態に戻します。
C:を除くデータボリュームの状態は保持します。
外付けHDDはすべて取り外しておいてください。

作業を開始する場合は、YESと入力してEnterキーを押してください。
作業を開始しますか？(YES or NO) >YES
  
```

ここではメッセージに従って、キーボードから「YES」を入力して [Enter] キーを押してください。

注意

この操作の後、システム領域は出荷時状態に戻りますのでご注意ください。
作業を中止する場合は、ここで「NO」を入力して [Enter] キーを押してください。

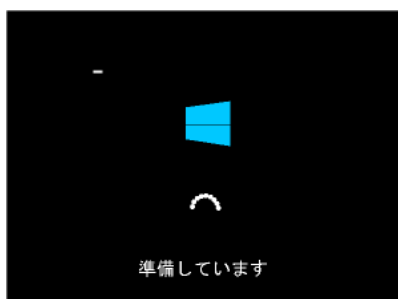
- ② 作業が開始されると、内蔵ディスクのチェック (約 3 分)、起動ディスクの確認 (約 4 分) に続いてシステム領域のリカバリーが実行されます。所要時間は 30 分程度です。
※内蔵ディスクに異常が検出された場合は、リカバリー作業を中止します。

```

システムのみのリカバリーが終了しました。
再起動して作業を継続してください。
※再起動する前にDVD ドライブを取り外してください。
再起動後、システムのミラー化が開始されます。
システムを再起動します。
続行するには何かキーを押してください . . .
  
```

※メッセージに従って、USB ポートから DVD ドライブを取り外し、[Enter] キーを押してください。システムが自動的に再起動します。

- ③ 再起動中、デバイスドライバーのインストールなど、システムの初期化作業が自動で行われます (途中、自動的に再起動します)。作業が完了するまでしばらくお待ちください (所要時間 5 分ほどです)。



- ④ 初期化作業が完了すると、「サインインするには **Ctrl + Alt + Del** キーを押してください。」と表示されます。キーボード上の三つのキー（[Ctrl] キー・[Alt] キー・[Del] キー）を同時に押してください。

Windows のサインイン画面が表示されます。

下記のアカウントでサインイン（ログオン）します。

ユーザー名：admin

パスワード：admin

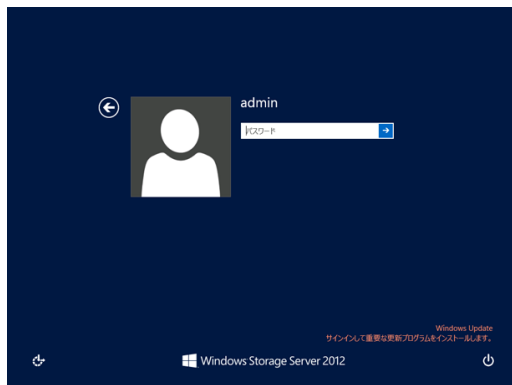
ユーザー選択画面では、

「admin」

を選択してください。



続いて表示されるパスワード入力画面では、パスワード入力ボックスに「admin」を入力してください。



サインイン（ログオン）に成功するとデスクトップ画面が表示され、「NAS ツール」メニューが自動的に開きます。

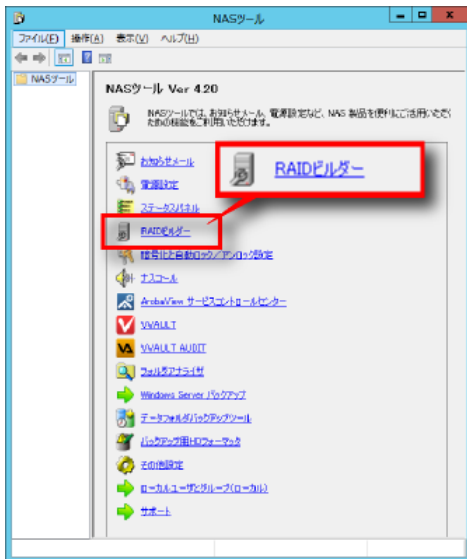
サインイン後、システム領域の RAID ボリュームが自動的に構成されます。

所要時間は 3 分程度です。

デスクトップ画面が開くまでしばらくお待ちください。

⑤ RAID 構成を確認します。

「NAS ツール」の選択メニューから「RAID ビルダー」をクリックして起動してください。



⑥ RAID ビルダー上で、C:ボリュームが「修復中」であることを確認してください。

修復が完了するまで、NAS 本体の電源を切らないでください。

NSB-75S4CS2・NSB-75S4CW2・NSB-75S4DS2・NSB-75S4DW2 シリーズ

ボリュームが「修復中」の間、製品前面の液晶表示パネルに「RAID 再構築中」のメッセージが表示されます。

「修復」が完了すると通常のステータス表示に戻ります。

NSB-75S4RS2・NSB-75S4RW2 シリーズ

ボリュームが「修復中」の間、製品前面のアクセス/エラーランプの赤色が各 0.5 秒ずつ順番に点灯します。

「修復」が完了すると赤色は消灯します。

～～以上で作業は完了です。～～

< 推奨 >

リカバリー作業の完了後、Windows アップデートを実施してシステムを最新の状態にすることを推奨します。

また弊社ダウンロードコーナーにて、本製品の最新アップデートもご確認ください。

6-3. 「Windows Server バックアップ」の「ベアメタル回復」によるリカバリー手順

「Windows Server バックアップ」のバックアップデータでシステム領域およびデータ領域を、バックアップの取得時点まで回復させる事が出来ます。

注意！

製品を出荷時の状態へ戻した場合（本マニュアル6-1の作業を実行した場合等）は、本手順を実行する事はできません。

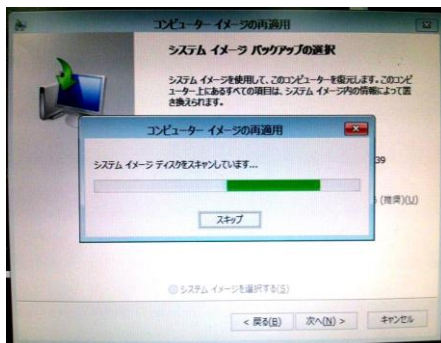
- ※ 作業を開始する前に、バックアップデータの保存されているストレージデバイスを NAS 本体に接続しておいてください。
- ※ 「ベアメタル回復」によるリカバリー作業では、作業開始前に内蔵ディスクの状況をチェックします。このチェックで異常が検出された場合作業を中止します。別の復旧方法をご検討ください。

- ① 「リカバリーメニュー」で、「3：ベアメタル回復を実行します。」を選択してください。

入力(1-5) >3
Windows Server バックアップで作成したバックアップデータをリストアします。
作業を開始する前に、バックアップデータが保存されているストレージを接続しておいてください。

- ② 作業が開始されると、内蔵ディスクのチェック（約 3 分）に続いて、「コンピュータイメージの再適用」ウィザードが起動します。

※内蔵ディスクに異常が検出された場合は、リカバリー作業を中止します。



利用可能なシステムイメージを自動的に検索します。しばらくお待ちください。

- ③ システムイメージの検索に成功すると、自動的に最新のバックアップデータが選択されます。復元するシステムイメージの「場所」、「日付と時刻」、「コンピュータ名」をご確認の上、「次へ」ボタンをクリックしてください。



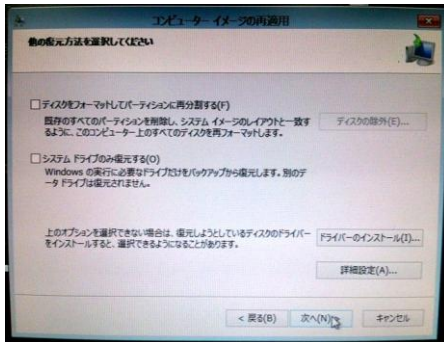
※共有フォルダに保存されているシステムイメージは、自動的に検出されません。

「システムイメージを選択する」を選択して「次へ」ボタンをクリックし、保存場所を指定してください。

④ 復元方法を選択します。

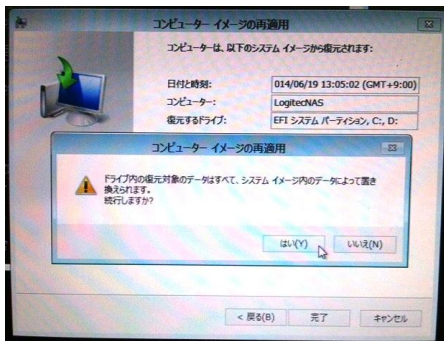
データ領域を残し、システム領域のみを復元することも選択できます。

復元方法を選択して、「次へ」ボタンをクリックしてください。



※ただし、NAS 本体のボリュームの状況によっては、復元方法の選択肢が固定される場合があります。

⑤ 復元するシステムイメージを確認し、「完了」ボタンをクリックしてください。

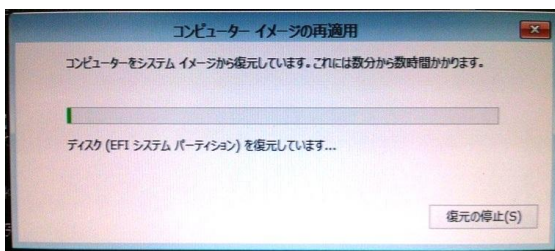


確認メッセージボックスが表示されますので、「はい」ボタンをクリックしてください。

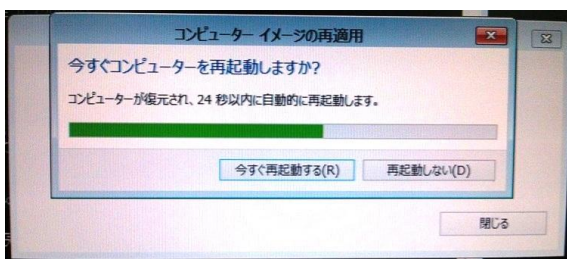
システムイメージによる復元が開始されます。

⑥ システムイメージの復元作業が完了するまでしばらくお待ちください。

※製品出荷時（データが一切保存されていない状態）のシステムイメージ復元で、所要時間は概ね 30 分程度です。



⑦ イメージの復元作業が正常に完了すると、システムは自動的に再起動します。



システムの再起動後、正常に復元が完了している事をご確認ください。

～～以上で作業は完了です。～～